

学校だより
令和3年度
第2号



やさわ

南相馬市立八沢小学校

令和3年5月25日発行

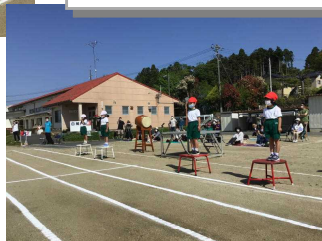
校長 佐々木

5月15日に2年ぶりとなる親子運動会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染防止のため、来賓の皆様をご招待することはできませんでしたが、八沢小学校の子どもたちの輝く姿を地域や保護者の皆様に見ていただくことができました。感染が拡大する中での運動会開催にご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。今後も、感染防止の工夫配慮をしながら教育活動を進めて参りますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

入場行進・開会式



2mの間隔をとり、マスク着用での開会式となりました。1年生が元気に開会の言葉を行い、6年生の代表児童もきびきびと行動しました。

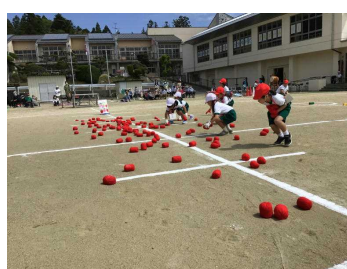


各学年徒競走



全力で歯を食いしばり、でもどこか誇らしげに最後まで全力で走りました。運動会でしか見られない姿かもしれません。幸運も必要なチャンスレースも、楽しく競技に参加していました。

各学年チャンスレース



団体競技



全校リレー



運動会を振り返って

閉会式



わたしは、リレーでてをふって、げんきにはしるというめあてでした。

ちゃんとてをふってはしれてうれしかったです。いちいになれました。

<1年生>

紅白対抗全校リレー。本当の最後の種目が始まりました。緊張と不安が入り交じったリレーは、歓声を浴びながら追いつかれ追い抜かして進んでいき、どんどん自分の番が訪れようとしています。緊張が一段と高まってきました。そして、アンカーの自分の番に回ってきました。とにかく前だけを見続け、全力で走りました。でも、結果は4位でした。悔しい思いはたくさんありませんでしたが、悔しい思いになってしまいました。でも、みんなあきらめず、最後まで走り続けていたところに感動したし、感動を保護者の方々に届けられたんじゃないかと思いました。

<6年生>

八沢の光

運動会で見る子どもたちの表情。歯を食いしばり一生懸命に走る表情、入賞して嬉しそうな笑顔、負けてもしっかり拍手をし最後まで演技する姿、そしてどこか誇らしげな表情。どの姿を見ても、ひとり一人の子ども心に感動を覚えます。そして、1年生には1年生の初々しさが、6年生には最上級生としての凛とした態度を見ることができました。これは、運動会でしか見ることができない、そして小学生ならではの姿です。

子どもたちにとっての1年はかけがえのないものです。運動会を開催できて本当によかったと思っています。今後も新型コロナウイルス感染予防に努めながらも、子どもたちにとって大切な活動は、様々な配慮をしながら実施していきたいと思っています。特に地域での活動について、ICTなども活用しながら推進していきたいと思っています。さらなるご理解とご協力をお願いいたします。